## 英語科学習指導案

指導者 小野 建

1.日 時 平成18年 7月 7日(金)2校時

2.学級 3年 1組 男子18名 女子13名 合計31名 南校舎3階

3.主 題 NEW HORIOZON English Course Book 3 Unit 3 Our Sister in Nepal

#### 4.主題について

本単元で扱われている言語材料は「現在完了形の経験用法・完了用法」と「不定詞の形容詞的用法・原因を表す用法」である。現在完了形については Unit 2 から学習するが、"have + 過去分詞"に ever, never といったキーワードをつけくわえることによって意味が変わることをとらえさせたい。また、不定詞については2年生で「名詞的用法・副詞的用法」を学習しているが、"to + 動詞の原形" の形を想起させ、新しく学習する基本表現の形式と機能を整理しながら指導していく必要がある。本単元の内容は、中学生によるネパールへのフォスタープログラムの活動という、ボランティア活動の内容である。教科書ではネパールの子供の家庭・学校生活の一端にスポットをあてている。不便な生活を強いられている子供達をボランティア活動で助けようというこの内容は生徒達にとっては想像しやすい内容である。

2年生からの指導として、「読むこと」「書くこと」に重点をおいてきた。文字と音声の指導を基盤にした語彙の指導、教科書の本文・基本文の音読・暗唱といったインプット活動を行ってきた。その結果、語彙・基本文を書くことについては徐々に力がついてきていると考えられる。しかし、3年生の Unit 2 において現在完了を学習しているがその定着は不十分で、具体的には主語が三人称単数になることによって have を has に変化させなければならないにもかかわらず have のままにしていたり、過去分詞が正確につづれないといったごく基本的な課題がある。これらの課題を克服するためにドリル学習を中心に据えながらも、自己表現活動を通して現在完了の文型を実際に使ってみることによって力がついていくであろうと考える。また、「書くこと」では、特に、自分の考えを整理して書くことが不得手だったり、それ以前のこととして、自分の考えを持たないといった問題があり、これからの指導のあり方を十分に考えていかなければならない。

以上のような教材と生徒の実態をふまえ、次の2つの方法で本単元を扱うこととする。1つめはコミュニケーション活動を授業の中心に据えることによって新出言語事項を浸透させることである。基本的な文法を確認し文型練習をした後、実際の使用場面に近い状態を作って活動させていきたい。単元全体を学習した後、獲得した言語材料、ネパールの実情を理解した上で、疑似募金活動を仕組み、募金の呼びかけ文を書き、発表することでまとめたい。そうすることで「書くこと」「話すこと」のアウトプットする力を補充・深化させたい。2つめは「書く」活動の充実である。これまでは意味を大まかに把握した後に音読することを重視してきたが、それを継続しつつ、内容をじっくりと読ませた後、感想を書かせることによって、自ら考える力を鍛えると共に表現する力を高めていきたい。

5.指導と評価の計画 (別紙「指導と評価の計画」による。)

#### 6.本時の達成目標

コミュニケーションへの関心・意欲・態度	募金活動の呼びかけ文を積極的に音読練習している。
表現の能力	募金活動の呼びかけ文を Read and look up しながら発表することができる。

#### 7.本時の指導の構想

#### (1)指導構想及び留意点

本時はフォスターチルドレンへの募金活動を呼びかける文をフォーマットに従って完成させ、Read and look up で発表することを 学習課題とした。この課題解決のためには、まず発表の前段階としてフォーマットの英文の十分な内容理解と音読する力を養っておく必要がある。そして、与えられた情報をフォーマットを活用しながら英文にしていく。さらに、音読でつけた力を発表に生かせる ように意識付けさせることが大切である。この学習課題を解決させるために指導の留意点として、一斉指導で徹底した音読の指導を すること、フォーマットにそって完成させた英文を生徒全員が読めるように、ペアや班といった生徒相互のかかわりあいを生かして 指導することがあげられる。

#### (2)かかわりあいを生かす手だてについて

自分だけが知っている事実、そして、それについての想いを言語によって相手に伝えることそのものが、最大の「必然性」である。 生徒達は本単元の学習を始める前にビデオを通してネパールの子供達が置かれている生活実態を理解することができた。その意味で 題材と生徒とのかかわりあいは深くなっているものと考えられる。また、獲得した言語材料で自分の考えを他者に伝えることによっ て、生徒相互のかかわりあいを深めることができると考えられる。特にも発表前の練習段階でのかかわりあいを大切にしたい。具体 的には、発表文を全ての生徒が完成させているかどうか、全員が音読できるかどうかどうか、もし音読できない生徒がいた時に生徒 同士がかかわりあって教え合い、学び合わせることによって課題を乗り越えさせたい。生徒達は本時の学習において、ことばを大切 にした自己表現活動をするために、本単元の言語材料のみならず既習事項の中から、使用可能な言語事項を選択していく。

## 8. 本時の展開

A 達成度 B 学習速度 C 取り組み方(学習の仕方)

D 見方・考え方 E 興味・関心 F 生活経験

段階	過程	時 間	学習活動	評価の視点・方法	指導上の留意点	学習形態・ 教材・教具
導	学習課	5	1 募金活動の場面をイメージ する。		1 E 興味・関心 ・実際の募金活動をイメージさせ、 本時の学習課題へとつなげる。	1一斉
入	題把握		2 本時の学習課題を把握する。 募金活動の呼びかけこ	文をつくり、発表しよう	2 E 興味・関心 ・教師のデモンストレーションを見 て本時の学習課題を把握する。	2 一斉
	プレゼン		3 フォーマットの文章を音読 する。 Repeat Read and look up		3 B 学習速度 ・テンポ良く進める。 ・チャンクを意識して音読させる。	3 一斉
	テーション プラクティス	40	4 メモをもとにフォーマット の英文を完成させる。	メモを情報をもとにフォーマットの英文を完成させている。	・フォーマットの流れを考え、メモ の内容にオリジナル文を付け加え	4 一斉 班
展開			5 音読練習をする。 (1)班で練習 (2)個人で練習	観察 A:自分の考え、語彙選択の適切 さ、話の流れ C:単語の意味を把握させ、英文 にする。		5 班
	プロダクション		6 全体発表する。	[表現の能力](話すこと)  呼びかけ文の Read and look up ができる。  A:暗唱、アクセント・イントネーション、自然な速さ、声の大きさ C:単語、チャンクを徹底して読めるようにする。		6 全体発表は 6 人
終末	まとめ	5	7 本時の自己評価・感想を書 かせ、本時の学習を振り返 る。			7 自己評価シー ト

#### 指導と評価の計画

3 年 英 語 単元(題材)名 Unit 3 Our Sister in Nepal 総時間 6 時間扱い

#### 学習指導要領の指導事項

- B(話すこと) イ 自分の考えや気持ちなどが聞き手に正しく伝わるように話すこと。
- C(読むこと) ウ 物語や説明文などのあらすじや大切な部分を読み取ること。
- D(書くこと)エ 伝言や手紙などで読み手に自分の意向が正しく伝わるように書くこと。

単	単元の目標		主な学習活動	ל	評価規準	コミュニケーション	への	表現の能力	理解の能力	言語や文化についての
						関心・意欲・態度				知識・理解
現在	完了、不足	定詞の表現	現在完了、不定	詞の表	B=「おおむね満足	英語を使ってコミ	ュニ	自分が伝えるべき情報	本文を読み、概要を読	基本文(現在完了経験
を使っ	て日常的な	な内容を尋	現を使って日常的	な内容	できると判断され	ケーションを図ろ	うと	を相手に伝わるように	み取り、T-Fで答え	・完了、不定詞)を用
ねたり	、答えたり	)できる。	について尋ねたり	、答え	る状況」	している。		話すことができる。	ている。	いて英文を書く。
			たりする。							
					A=「十分満足でき	日本語を使わずに	英語	必要な情報、自分の考	本文を読み、概要を英	基本文(現在完了経験
まと	まった文を	を読み、要	バザーのパンフ	レット	ると判断できる状	でコミュニケーシ	ョン	えや気持ちが言葉、内	語での質問に答えるこ	・完了、不定詞)を用
点をつ	かむことが	べできる。	とフォスターシス	ターか	況」の例	を図ろうとしてい	る。	容ともに豊富で、相手	とができる。	いて英文を書き、和文
			らの手紙を読み、	大切な				に詳しく伝わるように		英訳や英問に正確に答
			ことをつかむこと	ができ				話している。		える。
			る。		C=「努力を要する	重要な語や表現を	確認	必要な情報を既習表現	重要な語や表現を確認	基本文(現在完了経験
自分	の考えや気	気持ちなど	ボランティア活	動の呼	と判断される状況」	し、英語で表現さ	せる	を用いて英作文させ、	し、また、理解する上	・完了、不定詞)の構
が聞き	手に正しく	く伝わるよ	びかけ文章を作成	し、話	の生徒への指導の	よう促す。		読む練習をさせる。	で大切にすべき文に下	造や使用場面、意味な
うに話	すことがで	<b>ごきる</b> 。	すことができる。		手だての例				線を引かせるなどして	どを確認し暗唱させ、
									指導する。	基本文が定着するよう
										指導する。
次	時	主7	な達成目標		- 主な学習活動	コミュニケーショ	ンヘ	表現の能力	理解の能力	言語や文化についての
						の関心・意欲・態	度			知識・理解
		現在完了・	不定詞の表現を用	現在完	了・不定詞の表現を	現在完了・不定詞の	表現	現在完了・不定詞の表		現在完了・不定詞の表現を
1	3	いて、尋ね	たり、答えたりで	用いて	、尋ねたり、答えた	を用いて、積極的に	尋ね	現を用いて、聞き手に		用いて、尋ねたり、答えた
		きる。		りする。	<b>)</b>	たり、答えたりする。	,	正しく伝わるように話		りする。
								している。		
		まとまった	:文を読み、要点を	バザー	のパンフ、フォスタ				本文を読み、概要を読	
2	2	つかむこと	<b>ができる。</b>	ーシス	ターからの手紙を読				み取り、英語の質問に	
				み、大 <sup>·</sup>	切なことをつかむ。				答えることができる。	
		自分の考え	.や気持ちなどが聞	募金活	動の呼びかけ文を作			情報をもとに募金活動		
3	1		く伝わるように話					の呼びかけ文を発表し		
	本時	すことがで	<b>゚</b> きる。					ている。		
		•							•	•

# 3年英語科ワークシートNo15 Unit 3 Our Sister in Nepal

学習課題=

# 募金活動の呼びかけ文を作り、発表しよう

1 モデル発表を聞き、カッコに単語を記入しよう。

モ デ ル 呼 び か け 文	文の意味・働き
Donation, please.	donation= 募金の呼びかけ
My foster sister, ( ) is ( ) years old, and lives in Nepal.	フォスターシスターの( ) ( )( )
I have never been to Nepal, but I have supported her for ( ) year.	自分はネパールに行ったこと がない。 支援してきた( )
She can't go to ( ) because she has a lot of things to do.	フォスターシスターが抱えて いる()
I need money to 動詞の原形~	私は[ ] <b>するための</b> お金が 必要です。( )
So, donation, please.	だから、募金よろしくお願い します。( )

### 2上の文を参考に募金の呼びかけ文を書こう。

Donation, please.
My foster [brother, sister] (名前 ) is (年齢 ) years old, and lives in Nepal.
I have never been to Nepal, but I have supported [him, her] for (年数 ) years.
フォスターシスター(ブラザー)の抱える問題
支援の仕方
I need money to
So, donation, please.
の英作文の準備メモを日本語で書きなさい。 ・あなたは募金活動をします。それで得たお金を使ってどのような支援をしますか。 具体的に書きなさい。

## 3全体発表を聞いて<u>日本語で情報をメモしよう</u>。(発表は2回繰り返されます。)

発表者の名前	(1)	(2)
名前		
年齢		
支援している年数		
問題		
支援の仕方		
発表者の名前	(3)	(4)
名前		
年齢		
支援している年数		
問題		
支援の仕方		
発表者の名前	(5)	(6)
名前		
年齢		
支援している年数		
問題		
支援の仕方		

### 4授業の振り返りをしよう。

(1)自己評価	不定詞の形容詞的用法を用いて、自分の考えを 書くことができたか。	Α	В	С	D
	Read and look up(チラっと見て言う)で 言えたか。	Α	В	С	D
(2)今日の授業の感想を書こう。					
		<b></b>		<b></b>	

1 名前・性別・年齢Krishna (クリシュナ) 男子 8歳

支援してきた年数 3年

抱えている問題 彼は空腹だ。なぜなら、彼は貧しいから

\_\_\_\_\_\_

2 名前・性別・年齢Laasya (ラーシャ) 女子 6歳

支援してきた年数 2年

抱えている問題 彼女は勉強できない、なぜなら、彼女はノートとペンをもっ てないから notebooks and pens

3 名前・性別・年齢 Avani (アバニー) 女子 2 歳

支援してきた年数 1年

抱えている問題 彼女には服がない、なぜなら、彼女は貧しいから clothes

clothes の発音=

4 名前・性別・年齢

Chandra (チャンドラ) 女子

5歳

支援してきた年数 2年

抱えている問題

彼女は具合が悪い、なぜなら、きれいな水がないから (There is no clean water.)

5 名前・性別・年齢

Valin (バリン) 男子

6 歳

支援してきた年数 2年

抱えている問題

彼は医者に診てもらえない、なぜなら、彼は貧しいから ( He can't see a doctor )

名前・性別・年齢 6

Darshan (ダルシャン) 男子 10歳

支援してきた年数 4年

抱えている問題

彼は読み・書きができない、なぜなら、学校がないから ~がある=

1	My foster sister is Avani.  She is nine years old.  I have never been to Nepal, but I have supported her for 3 years.  She doesn't have any food, because she is poor.  We need money to	
	·	
2	My foster sister is Chandra.  She is 14 years old.  I have never been to Nepal, but I have supported her for 2 years.  She is sick, because she doesn't have clean water.  She need ( ) to(	)
3	My foster sister is Laasya.  She is 7 years old.  I have never been to Nepal, but I have supported her for 2 years.  She can't study, because she doesn't have notebooks and pens.  She need ( )to(	)
4	My foster brother is Darshan.  He is 10 years old.  I have never been to Nepal, but I have supported him for 3 years.  He can't see a doctor, because he is poor.  We need money to	
5	My foster brother is Krishna.  He is 8 years old.  I have never been to Nepal, but I have supported him for 2 years.  He doesn't have clothes, because he is poor.  We need money to	
6	My foster brother is Prem.  He is 12 years old.  I have never been to Nepal, but I have supported him for 2 years.  He can't read and write, because there is not a school.  We need money to	

## 年 組 番

学習課題	